

## 令和 5 年度第 1 回地域の日について

市長が直接伺い、政策に反映させることを目的として、地区まちづくり推進委員会との意見交換を行いました。

## 1 開催状況

地域	開催日	場所	時間	参加人数
浜田	7 月 26 日(水)	市役所本庁舎 4 階 講堂	午後 6 時 30 分 ～午後 8 時 30 分	19 人
金城	7 月 28 日(金)	みどりかいかん 2 階 大集会室	午後 6 時 30 分 ～午後 8 時	12 人
旭	7 月 31 日(月)	旭支所 3 階 大会議室	午後 7 時 ～午後 8 時 30 分	10 人
弥栄	8 月 7 日(月)	弥栄会館 2 階 大研修室	午後 7 時 ～午後 8 時 50 分	10 人
三隅	8 月 10 日(木)	三隅支所 3 階 集会室	午後 6 時 30 分 ～午後 8 時 10 分	12 人

※市側出席者 市長、副市長、地域政策部長、各支所支所長 ほか

## 2 各地域の主な意見・要望

地域	主な意見・要望	
浜田	・まちづくり総合交付金の継続 ・まちづくり推進委員会の事務支援	・活動拠点及び事務局体制の整備支援 ・まちづくりセンターとの連携強化
金城	・あいのりタクシー補助上限額の増額 ・美又温泉周辺の遊具整備	・波佐診療所医師の確保対策 ・地域が実施する若者定住対策支援
旭	・地域の情報発信支援 ・空きパイプハウスの利活用支援	・有効なまちづくり事業の水平展開 ・地域資源の活性化支援
弥栄	・まちづくり総合交付金の拡充 ・環境に配慮した地域や農業への支援	・市営住宅や空き家の有効活用 ・どぶろく振興への支援
三隅	・あいのりタクシーの制度改善 ・まちづくり総合交付金の制度改善	・職員の積極的な地域活動参加 ・空き家・耕作放棄地対策支援

## 3 その他

地区まちづくり推進委員会の事務負担が課題となっていることに対し、今後の市の支援策を検討する際の参考とするため、地区まちづくり推進委員会の事務支援を行う(仮称)地区サポーター創設の検討に係る意見交換を行いました。

意見としては、「事務の負担軽減につながることから必要」とあった一方、「現状で足りているので不要」というものもありました。また、共通して「人材確保が課題」とありました。

今後、頂いた意見を踏まえて、地域の実情に応じた支援策を検討します。

(次ページに続く)

【参考】(仮称)地区サポーターの創設(案)

開始時期	令和6年度(※令和6年度は試行予定)
背景・目的	地区まちづくり推進委員会が担う役割が高まっている一方で、取り組む事業の内容は複雑・高度化しており、事務的な負担が課題となっている。事業を持続的に実施していくためにきめ細かな支援を行う(仮称)地区サポーターを設置し事務支援等を行う。(国の集落支援員制度を活用(特別交付税措置))
業務内容	地区まちづくり推進委員会の活動状況によって、①～④の業務(支援)を行う。 ① 事業支援・事務支援 ② 地域実態の把握 ③ まちづくり計画の策定更新支援 ④ 事業部会、有償ボランティア団体の設立支援 など
任用形態	会計年度任用職員